

司法 アクセス学会

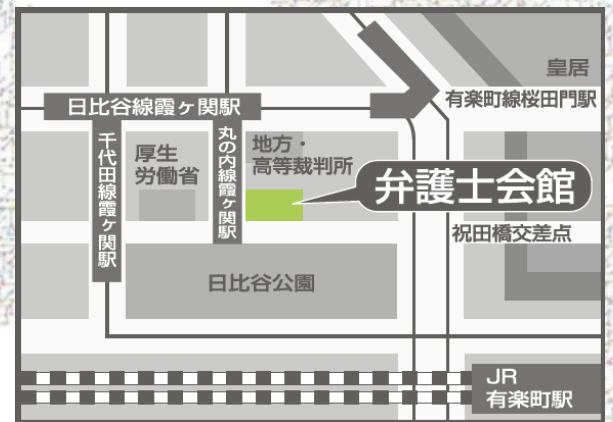
第11回学術大会

日時：2017年12月9日（土）
午後1時～午後5時

場所：弁護士会館2階 講堂クレオ

東京都千代田区霞が関1-1-3

- ・地下鉄丸ノ内線・日比谷線「霞ヶ関」駅
(B1-b出口) 直通
- ・地下鉄千代田線「霞ヶ関」駅 (C-1出口) 徒歩2分
- ・地下鉄有楽町線「桜田門」駅 (5番出口) 徒歩5分
- ・JR「有楽町」駅 徒歩10分



テーマ：
「AIとリーガルテックは
どこまで司法アクセスを
高めうるか？」

※企画趣旨は裏面をご覧ください。

スケジュール

I. 基調講演「AIからみたリーガルテックの展開」

- 報告者①： 佐藤 健 氏（国立情報学研究所）
「AIによる要件事実論に基づく民事裁判支援システムの開発」
- 報告者②： 新田 克己 氏（東京工業大学）
「対話エージェントを用いた議論教育の支援」

II. パネル・ディスカッション「ITとリーガルテックの実務へのインパクト」

- パネリスト： 基調報告者〔佐藤 健 氏・新田 克己 氏〕
早野 貴文 氏（弁護士）
稲本 信広 氏（司法書士）
盛武 隆 氏（行政書士）
- コーディネータ： 清水 宏 氏（東洋大学）

総合司会： 飯田 高 氏（東京大学）

参加申込み受付／お問い合わせ先
司法アクセス学会事務局

《学会員以外の方もご参加いただけます》

E-mail: jaajoffice@gmail.com

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学社会科学研究所 飯田高研究室内

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先を明記のうえ、上記アドレス宛にお申込みください。

または、裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAXで送信してください。いずれかの方法でかまいません。

司法アクセス学会

第11回学術大会

第11回学術大会テーマ：

「AIとリーガルテックは どこまで司法アクセスを高めうるか？」

〔趣旨〕

AIが一躍脚光を浴びてきている。司法アクセスの向上のためにもAI技術を活用できないであろうか。AIやITをはじめとする先進技術をリーガル・サービスにおいて活用することはときに「リーガルテック」とも呼ばれる。リーガルテックは、隣接法律専門職の業務分野においては一部において目覚ましい進歩が見られるようである。

行政書士の業務分野ですぐに想起されるのは「行政2.0」の段階に入ったと言われる「電子政府（e-Government）」、「電子自治体」であり、多くの行政サービスの提供がインターネットや専用回線を通じて電算化されてきている。行政サービスへの市民のアクセスはネットとAIによって着実に向上している。それに対応して行政書士の業務にも変革が生じている。その意味で行政書士と電子行政による広義の司法アクセス向上がもたらされつつあると言えよう。

司法書士の業務分野では周知のように登記事務の電算化が実施された。その結果、登記実務の時間短縮や他登記所管轄の物件の証明書が入手可能となるなど利便性と迅速適正化が進んでいる。ここでもネットとAI、ITによる司法書士業務の変容が進み、それを通じて司法アクセスの向上がもたらされつつあると言えよう。

では裁判所業務や弁護士業務はどうであろうか。訴訟文書の電算化はあまり進んでいないようである。この意味でネットとAI、ITによる裁判へのアクセスの向上はこれから期待される領域といえる。弁護士業務の場合も、AI化は企業法務や知財分野などかなり限定された法分野の実務のみのようである。

AIやITの活用による法律相談、リーガル・サービス、訴訟手続事務、事実認定や法的判断などへの支援は未だ研究段階の域を出ない（論理プログラミング、深層学習（neural network）、ベイズ推定・ベイジアンネットワーク、などの法分野での活用研究）。

本シンポジウムでは、ネットとAI、ITの活用による広義のリーガル・サービスの質と量の向上、それによる司法アクセスの改善に関して、行政書士、司法書士、弁護士による現状の把握、課題の同定、将来の展望を語り合ってもらい、AI、ITによる司法アクセスの向上への起爆剤としたい。

参加申込書

メールで jaajoffice@gmail.com 宛にご連絡いただいても差し支えございません。

FAX: 03-5841-3159

※切り取らずこのままFAXしてください。

第11回学術大会に **参加します**

懇親会のご出欠： ご出席 ・ ご欠席

〔お名前〕

〔ご所属〕

〔ご連絡先〕

TEL :

E-mail :